

(様式1)

# 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	2602
部 名	保健福祉部	課 名	保育課		課長名	長沢 博文
事務事業名	市立相模原保育園建替事業					
予算上の事務事業名	施設整備費					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		13110			
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます					
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進					事業開始年度
施策名	第1施策 保育環境の整備・充実					平成16年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
児童福祉法、児童福祉施設最低基準、相模原市21世紀総合計画、相模原市児童育成計画、相模原市公立保育所活性化・民間移管計画						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	新さがみはら子どもプラン			「安心して子育てができるまち さがみはら」を基本理念に、子育て支援のための環境整備を進める。		
計画年次	13	年度～	17	年度		
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
新さがみはら子どもプランに基づき ・子供たちへの良好な保育環境の提供 ・多様化する保育ニーズに対応するため、一時保育や園長保育等より一層の柔軟な保育の実施 ・周辺の待機児童の状況や施設老朽化に対応した、効果的な施設整備を目的に、園舎建替を実施する。					公立保育園	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
平成18年4月開所を目前に、基本・実施設計を進めるとともに、17年度中の園舎建替に向け、仮設園舎の建設を実施した。 ・新園舎基本・実施設計...平成16年9月～平成17年3月 ・仮設園舎建設.....平成17年1月～平成17年3月 ・仮設園舎移転.....平成17年4月23日 ・その他、保護者説明会、地元自治会説明会等を実施						
6 関連・類似事業や他市の状況						
公立保育所の運営費一般財源化や従来単年度事業とされていた保育所建設が継続事業化されるなど国の補助制度の見直しにより、自治体としてどのように取組んで行くのか主体性を発揮した的確な対応が求められている。						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	0	90,106	0	0	
一般財源	0	0	90,106	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	5,649	0	0	
事業コスト合計(a)	0	0	95,755	0	0	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	市立相模原保育園建替			対象名称(単位)	経費比率	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	0	58,834	0	0	
対象数	0	0	1	0	0	
単位あたり経費(円)			58,834,000			
前年度比						
9 活動指標・・・実施した内容(活動)の数値化						

指標名 (単位)	設計及び仮設園舎の建設 (事業予定どおりの進捗:100)	指標式と指標の説明	平成18年4月開所に向けた適正な事務執行		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
目標達成度			1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	設計及び仮設園舎の建設 (事業予定どおりの進捗:100)	指標式と指標の説明	平成18年4月開所に向けた適正な事務執行		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
目標達成度			100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	{	良好な状態を維持する事業			
	{	概ね良好な状況である事業			
	{	見直しを行う必要がある事業			
	{	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 地域施設の視点から、自治会等周辺住民の計画への早期参加の促進 保育士、調理師等保育現場との密接な情報交換の実施 建設コストの圧縮			14 課題として認識されたこと 2園以外について、経費の節減と平準化を図ったうえでの計画的建替えの検討 建替実施の際の仮設園舎のあり方と用地確保 建替実施の際の地域要望への庁内対応方策の検討		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			